

診療関連技術	2 年・前期	2 単位	教授 赤石 三佐代 助教 松崎 圭子
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110582

1. 授業のねらい・概要

医学的問題を有する対象に施される診療（診察・検査・治療）の目的・方法等を学び，看護者が補助として関わる役割とその意味を理解する。また，診療に伴う対象の心身の苦痛を最小に抑え，正確で安全な技術の修得を図る。

2. 到達目標

1. 検査・処置・治療を安全に実施するために必要な基本的知識が理解できる。
2. 検査・処置・治療を安全に実施する上で必要な基本的技術を習得できる。

3. 授業の進め方

授業計画に基づき，それぞれの項目に対して講義及び演習を行なう。また技術評価試験を行い，講義および演習で学んだ知識・技術を確認する。

4. 授業計画

1. ガイダンス：診療関連技術（赤石三佐代）	16. 演習：無菌操作（赤石）
2. 講義：症状・生体機能管理技術（赤石）	17. 演習：滅菌手袋装着・カウンテクニク（松崎）
3. 講義：生体情報のモニタリング（赤石）	18. 演習：創傷処置・包帯法（赤石）
4. 演習：生体機能管理技術（赤石） 採血	19. 講義：排泄援助技術の基礎知識 1（赤石）
5. 演習：安全管理の技術（赤石）	20. 講義：排泄援助技術の基礎知識 2（赤石） 浣腸・導尿
6. 講義：与薬の基礎知識 1（赤石）	21. 技術評価試験：オリエンテーション（赤石・松崎）
7. 講義：与薬の基礎知識 2（赤石） 筋肉注射、皮下注射	22. 技術評価試験：診療関連技術（赤石・松崎）
8. 演習：筋肉注射（赤石）	23. 演習：排便困難時の援助 浣腸（赤石）
9. 演習：皮下注射（赤石）	24. 演習：排尿困難時の援助 導尿（赤石）
10. 講義：与薬の基礎知識 3（赤石） 静脈注射	25. 講義：呼吸・循環を整える技術の基礎知識 1（松崎）
11. 講義：与薬の基礎知識 4（松崎圭子） 輸液ポンプ・シリンジポンプ	26. 講義：呼吸・循環を整える技術の基礎知識 2（松崎） 酸素吸入・ネブライザー、吸引
12. 演習：静脈注射（赤石）	27. 演習：酸素吸入、ネブライザー（松崎）
13. 演習：輸液ポンプ・シリンジポンプ（松崎）	28. 演習：吸引（松崎）
14. 講義：創傷管理技術 1（赤石）	29. 講義：安全管理の技術（医療事故防止）（赤石） 誤薬防止、薬剤・放射線暴露防止
15. 講義：創傷管理技術 2（赤石）	30. 講義：診療関連技術まとめ（赤石）

5. 成績評価の方法・基準

筆記試験（60%），技術評価試験（30%），課題・演習記録（10%）を総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

- ① 任和子他（2018）：系統看護学講座 看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院，
- ② 監修 本庄恵子，吉田みつ子（2016）：写真でわかる臨床看護技術①・②インテグレイ

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

- ・授業前に必ず予習し（1 時間以上）事前学習課題を提出する。

- ・演習記録は演習の実施・結果，考察を記述して提出する。
- ・技術評価試験は3回以上の自己練習を必要とする。

8. 受講上の留意事項

- ・臨地実習と同様の身だしなみをする。
- ・安全確保のため演習中は教員の指示に従うこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

- ・事前学修課題，演習記録はコメントして返却し，復習に活用する。
- ・定期試験の答えは返却しない。模範解答もしくは解説を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針当該授業科目との関連

- ・必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。